

①保険適応CAD/CAM冠の実際

～CAD/CAMを始めるにあたって～材料編

「セラスマートについて」

2014年度の診療報酬改定にて、「CAD/CAM冠」が新規に収載されました。これは、2009年4月に北海道医療大学において承認された先進医療「歯科用CAD/CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴」が、5年に及ぶ臨床評価を経て有効性が確認され、保険適用となったものです。

弊社では、CAD/CAMシステムの機器・材料について、長年研究・開発を進めており、この先進医療に対しても「グラディアブロック」を供給し、良好な評価を得てきました。

「ジーシー セラスマート」は、「グラディアブロック」の評価を受け、更に物性や耐久性を向上させたハイブリッドレジンブロックで「グラディアブロック」と同時に保険適用になった製品です。最新のナノファイバーテクノロジーを採用した「ジーシー セラスマート」について、その特徴をご説明します。

【講 師】 上野 貴之（うえの たかゆき）

株式会社ジーシー 研究所

【ムービー：約13分】

「CAD/CAM冠（ハイブリッドレジンブロック）基本術式のポイント

～ 支台歯形成から口腔内装着 ～

制作指導：広島大学病院 口腔維持修復歯科 咬合・義歯診療科
診療准教授 安部倉仁先生

平成26年度診療報酬改定により、小臼歯部の「歯科用CAD/CAMシステム装置を用いて製作された歯冠補綴物」が保険適用となりました。

今回は、CAD/CAM冠の臨床応用に際し重要となる支台歯形成から口腔内装着を中心にそのポイントを「Aadva CAD/CAM システム」と歯科用CAD/CAMシステム用ハイブリッドレジンブロック「セラスマート」を使用してご紹介いたします。

また、ムービーに登場した周辺器材（接着材、研磨材等）についても紹介いたします。

●コンテンツ内容

- ・支台歯形成のステップと注意点
- ・CAD/CAMでの製作
- ・試適&調整
- ・研磨
- ・装着
- ・トレーサビリティシールの使用方法

②保険適応CAD/CAM冠の実際

～CAD/CAMを始めるにあたって～機械編

「Aadva CAD/CAMシステムについて」

歯科用CAD/CAMシステムは高精度品質、生産性維持だけではなく、ハンドワークでは作製が困難なチタンやジルコニアなどの材料、インプラント上部構造などの補綴物までの適用もなされ、さらには2014年4月からはコンポジットレジンブロックによるCAD/CAM冠も保険収載となり、歯科用CAD/CAMシステムを使用した技工は標準となってきた。

弊社の歯科用CAD/CAMシステムである「Aadva CAD/CAM システム」は、歯科技工所設置型のCAD/CAMシステムであり、石膏模型を計測する計測機、補綴物形態をデジタル設計するCADソフト、加工用データを作成するCAMソフト、補綴物を加工する乾式加工機や湿式加工機、インプラント上部構造などの加工サービスを提供している加工センターから構成されている。

今回、これらの機能や特徴を紹介させて頂きながら、歯科用CAD/CAMシステムの現状についてお伝えできればと思っている。

【講 師】 蛭原 善則（えびはら よしのり）

株式会社ジーシー 機械開発部

MEMO